

24 工場・作業場

【関連章第7章7】

事例 「作業場の低圧進相コンデンサから出火した火災」

出火時分 6月 5時ごろ
用途等 作業場併用住宅 準耐火造 3/0 延 100 m²
防火管理 非該当
被害状況 建物ぼや1棟 コンデンサ1個焼損
概要

この火災は、作業場内に設置された低圧進相コンデンサから出火したものです。

出火原因は、低圧進相コンデンサを長年使用したことにより、内部で絶縁劣化し発熱したため出火したものです。

火元建物3階の居住者は、就寝中に煙臭さを感じ目を覚ましましたが、周囲に煙等は見えなかったため2階に降りると、住宅用火災警報器が鳴動していました。さらに1階へ降りると、作業場全体が白い煙で充満しており、壁に取り付けられているコンデンサが焼損しているのを発見しました。

火元建物隣の居住者は、警報音が聞こえたため外へ出てみると焦げ臭さを感じたため、携帯電話で119番通報を行いました。

教訓等

低圧進相コンデンサは、作業所や工場で電力の力率改善のため分電盤などに設置されていますが、作業場や工場などの勤務者が設置されていることを把握していないことがあります。長年使用により劣化していても、機械は通常通り使用できるため異常に気付かないことが多く、突然煙を出しながら出火します。機械を使用していなくても、電圧が印加されていれば無人時や就寝中でも出火する可能性があるため、設置から10年以上経過したものは、専門業者による点検を受け、計画的に交換しましょう。



写真 24-1 コンデンサの設置状況

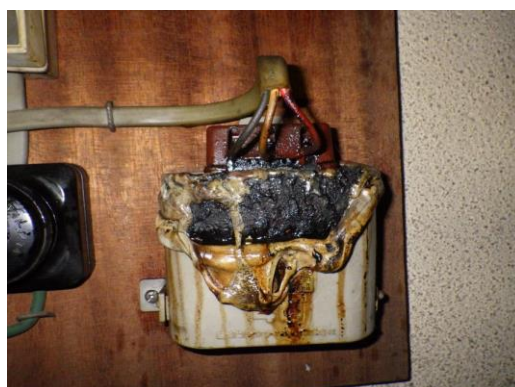


写真 24-2 コンデンサの焼損状況



写真 24-3 コンデンサの焼損状況